



CORPORATE PROFILE

オークマ株式会社 会社案内

OPEN POSSIBILITIES





ものづくりを進化させる、
それが私たちの使命です。

私たちは創業以来、工作機械を世に送り出し、製造業の発展に携わってきました。
そんな歩みを持つ私たちだからこそ、あらゆるものづくりの可能性を拓けることに、
常に前向きであり続けたいと考えます。
ものづくりに携わるすべての人々が、もっと自由に、思うがままの加工を手に入れ
より大きな夢や希望を実現できるよう、私たちの挑戦は続きます。

OPEN POSSIBILITIES

「ものづくりで可能性を切り拓く」ということ。



企業理念

オークマは、総合一貫した“ものづくりサービス”を通して、
世界中のお客様の価値創造に貢献することで、
オークマと共に歩むすべての人々の幸せを実現します

世界最高の「総合ものづくりサービス」企業を目指して

当社は1898年の創業当時から、お客様の生産性向上のため「必要なものが世の中に無ければ自社で開発する」精神を脈々と受け継いでまいりました。1904年に工作機械の製造を開始し、現在ではグローバルな総合工作機械メーカーに成長いたしました。これはひとえに、お客様をはじめ、当社とともに歩んでいただいていた皆様のご支援の賜物であると、心より感謝申し上げます。

1963年には、日本の工作機械メーカーとして初めて自社でNC装置「OSP」を開発。以来、「機電情知」融合の強みを活かし、加工現場を熟知した立場で知能化技術を開発し、工作機械を、自律的に判断して最適な加工に導くスマートマシン(スマートな工作機械)へ進化させてまいりました。

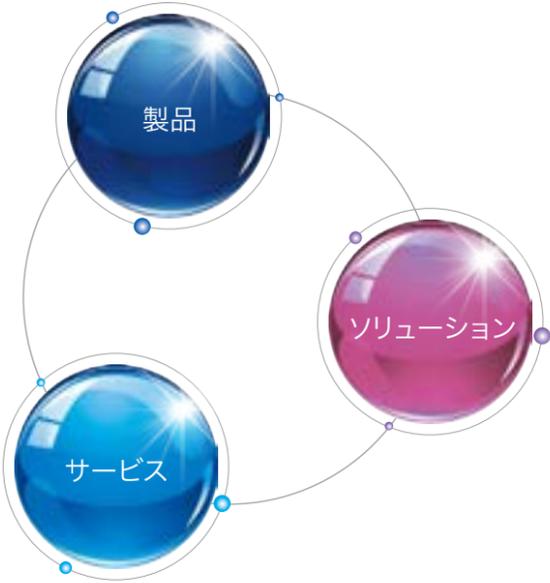
現在、第4次産業革命の潮流のもと、世界各国でものづくり革新を目指す取り組みが加速しています。当社は、創業から120年以上にわたり培った熟練の技を磨き、「人づくり」を礎として、スマートマシンそしてロボット・IIoT・AI活用による生産革新で世界を先導しつつ、先端技術の開発に邁進してまいります。

オークマは、自律的に最適加工を行うスマートマシンの提供をはじめ、ものづくりプロセス全体を支援する世界最高の「総合ものづくりサービス」企業を目指し、お客様の生産性向上、高付加価値創出、生産革新を支えてまいります。

今後とも倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

オークマ株式会社 代表取締役社長

家城 淳



オークマは世界の生産現場を支える 総合工作機械メーカーです

オークマは、旋盤、マシニングセンタ、複合加工機、研削盤、さらに制御装置や周辺機器を手がける総合工作機械メーカーです。
カメラレンズやスマートフォンの金型、自動車や医療機器、航空機や船舶、風力・太陽光発電など幅広い産業分野を支えています。

世界中のお客様から信頼されている品質

オークマは、長い歴史の中で幅広い産業分野の第一線に工作機械をお届けしてきました。その間、お客様と共にものづくりの現場で様々な課題と向き合う中で、機種を展開し、世界中の生産現場でお使い頂ける総合工作機械メーカーへ成長しました。
信頼されるブランドとして、お客様から支持を獲得し続けているのは、高度な技術に裏打ちされた製品品質とサービス品質を磨き続けているからです。

旋盤

マシニングセンタ

5軸制御マシニングセンタ

超複合加工機

複合加工機

門形マシニングセンタ

研削盤

次世代ロボットシステム





オークマの機電一体



なぜ、オークマは「機械と電気の融合」を追い求めるのか

製品のすべてに総合一貫して責任を負う

スイッチひとつで、工作機械が自動的に工具を交換し、刃物台やテーブルが自在に移動して、曲面や複雑な形状も穴や溝も、段取りよくミクロン精度で加工していく。それはNC装置と機械が融合した「機電一体」の世界です。

今では当たり前の光景も、半世紀前は夢物語でした。オークマは工作機械メーカーでありながら、その実現に向けて、無謀と言われたNC装置の開発に挑戦。さらに、モータ、サーボドライブユニット、位置検出器など精密制御に不可欠なコア部品をすべて自社開発しました。

その情熱を支えたのは「高精度で使いやすい機械を開発する」という信念であり、「製品のすべてに総合一貫して責任を負う」という考え方です。

こうして受け継がれた機電一体のDNAは、お客様の生産性向上に直結する独創的な製品開発や知能化技術に反映され、機械とNC装置の領域に関係なくスピーディなサービスとなって結実しています。

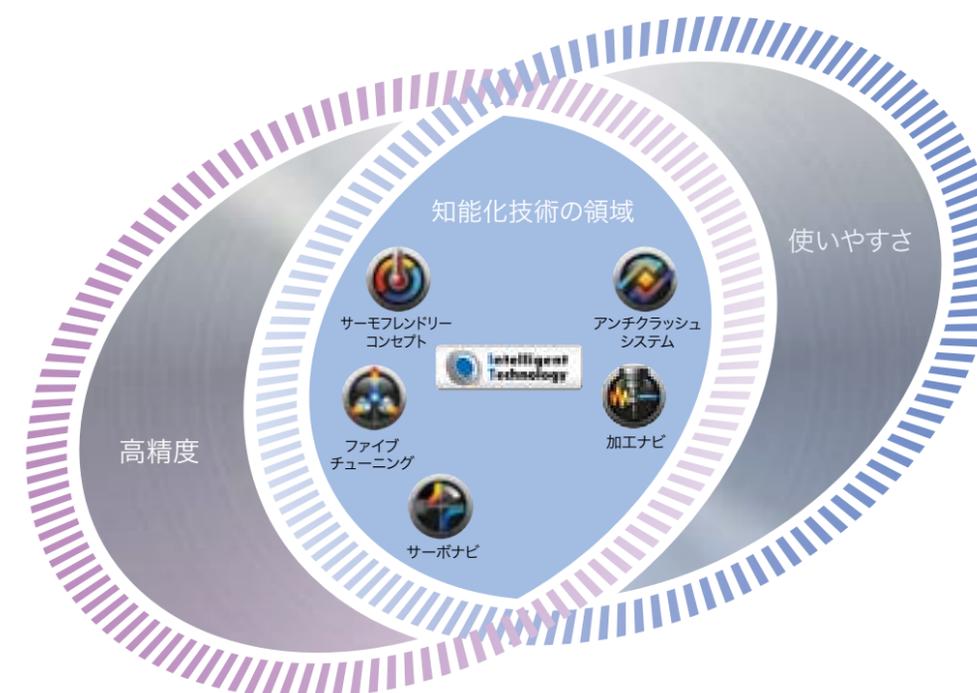


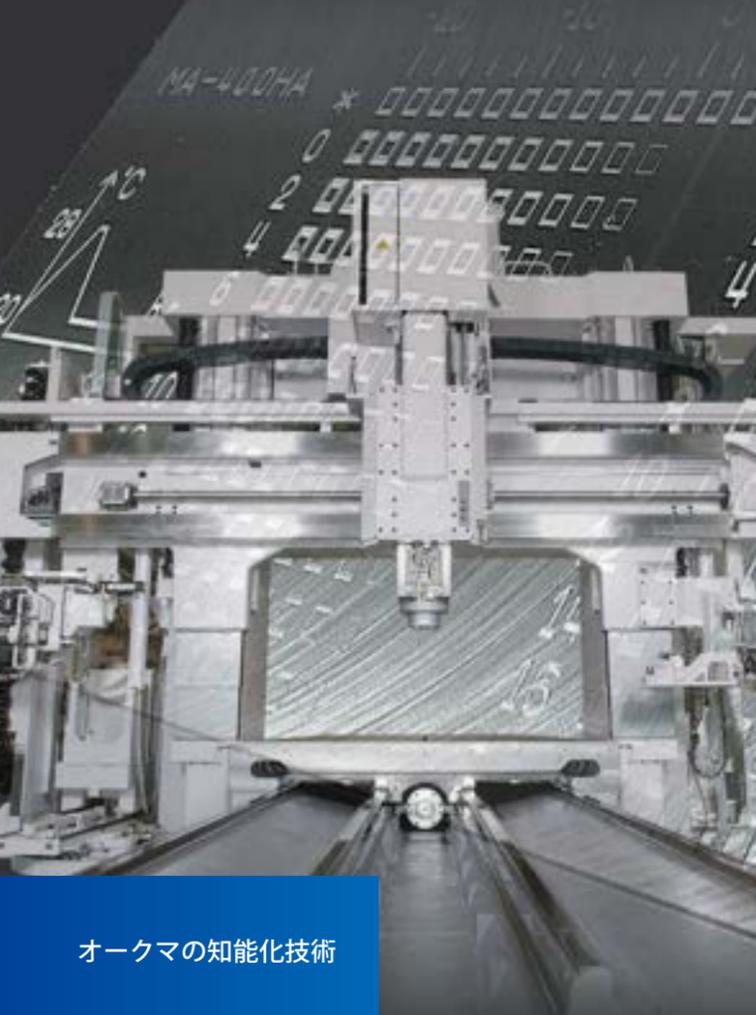
オークマの智能化技術



お客様の生産性向上に直結する オークマの“智能化技術”

加工の現場には、精度や生産能率を妨げる様々な課題があります。
 温度変化による機械の熱変位や多軸加工での軸芯のズレは加工精度に大きく影響します。
 また、機械摺動部の干渉や衝突に対する不安、加工中のびびり振動への対策などは
 加工能率に影響を及ぼします。
 これらは止むを得ない現象として、熱変位や経年変化は「機械の癖」、衝突防止の確認や
 最適な加工条件の探索は「作業者の技量」や「加工ノウハウ」の一部と理解されてきました。
 しかし、そのうちのいくつかは、工作機械メーカーがお客様へ提供すべき技術領域であり、
 こうした課題の解決こそメーカーの使命と考え、「機電一体」のオークマならではの
 数々の智能化技術でお客様の生産性向上を実現しています。





オークマの智能化技術



オークマの智能化技術が実現する 「高精度」と「使いやすさ」

智能化技術で“高精度”を実現

-  素直な熱変位を正確に制御
サーモフレンドリーコンセプト

機械周辺の温度変化や加工時に発生する熱は、加工精度に大きな影響を及ぼします。そこで、無理に冷却するのではなく、温度変化を受け入れて熱変位を制御しやすい構造設計としました。機械の立ち上げ時に一度寸法確認をすれば、それ以降の補正を大幅に削減します。



2002年日本機械学会賞(技術)受賞

-  幾何誤差を計測・補正
ファイブチューニング

多くの面を加工する5軸加工機においては、回転軸の芯ズレなどの「幾何誤差」を何種類も補正する必要があります。これまで手作業で可能な補正は、時間をかけながらもわずか4種類でしたが、ファイブチューニングはわずか10分で11種類を計測・自動補正します。



2013年日本機械学会賞(技術)受賞

-  サーボ制御最適化機能
サーボナビ

サーボ制御の最適化を自動で行うことにより、加工精度・加工面品位を向上させます。特にマシニングセンタでは、加速度を上げ、加工時間の短縮が可能です。また、機械を長く使用した場合(経年変化)に発生する反転突起や異音、振動、曇目、うるこ目などを即座になくことができ、高精度・安定動作を長期間維持します。

智能化技術で“使いやすさ”を向上

-  衝突防止機能
アンチクラッシュシステム

複雑な動きの多面加工では、機内で衝突をおこす危険が増えます。そこで、高度な制御技術を活用した衝突防止機能を開発。自動運転でも手動操作でも、衝突寸前に機械動作を停止させます。誰でも安心して加工に集中でき、段取り・初品加工時間を大幅に短縮できます。

-  加工条件探索機能
加工ナビ

びびりの発生が心配で回転速度を上げられない。そんな不安を解消したのが加工ナビです。優れた検知・抑制機能によって、最適な加工条件を探索します。面品位の向上はもちろん、加工時間の短縮や生産性を向上させ、工具寿命延長や工程集約にも貢献します。



2010年日本機械学会賞(技術)受賞



研究開発



先を見通す目と積み上げた技術— 「机上の理論」を「機上の現実」にする研究開発

ひとつの新製品の登場が、お客様の加工品質や生産性を飛躍的に高め、ものづくりシーンを変えていく。
多彩な専門領域を探究する基礎研究の蓄積、技術トレンドを見通した開発力で
「こんなことができれば」と願うお客様のニーズをいち早く具現化しています。



“挑戦する基礎研究”で常識を打ち破る

革新的な新技術が生まれる底流には、常識を打ち破ろうとする研究者たちのチャレンジ精神があります。「長い間、加工現場を悩ませている課題を根本的に解決する方法はないか」。熱・振動・びびりなどの難解なテーマに真正面から向き合い、膨大なデータを解析しながら論理を組み立てていく。知能化技術は、このような基礎研究の積み重ねにより生み出されました。



“同期する開発・設計”で期待を超える

「こんな機械が欲しかった」とご満足いただくには、お客様の隠れたニーズまで掘り起こすマーケティング力が重要です。オークマでは、営業・サービス活動で得た情報を開発部門と共有・分析し、数年先のトレンドを見極めた技術開発を進めています。そして、次世代モデルが構想されると、商品開発・設計・制御・部品加工・組立・生産技術、さらには営業・サービスまでが一体となってプロジェクトを推進し、ご期待を超える製品を創り出しています。



本社工場



熟練の技と自動化が織りなす未来工場

Dream Site(ドリームサイト:DS)

複合加工機、横形旋盤などを生産するDS1・DS2は、部品加工から組立までを自己完結する一貫生産工場です。

自社製品を組み込んだ自動加工システムと熟練の技が融合した部品加工と組立エリア、工程の進捗を見える化した新・生産管理システムなど、ここでは人・機械・情報通信が一体となったものづくりが進められています。また、太陽光発電・LED照明などの省エネ機能も兼ね備えた、先進のスマートファクトリーを実現しています。



自己完結の一貫生産体制

部品加工・ユニット組立・最終組立のエリアを合理的に配置し、部品の流れを最短・最適化して多種多様な機種をスピーディに完成。ほぼ全ての加工設備が自社製で、知能化技術や長年培った加工・組立ノウハウが随所に活かされています。



工程の最適化を図る「新・生産システム」

どのような仕様の機械が受注されるかを高精度に予測し、部品を計画生産。さらに設備の稼働状況、ユニットの供給、組立の進捗まで工場に設置したディスプレイや従業員が持つ情報端末にリアルタイムに表示。これにより全工程の最適化を図っています。

愛知県にある本社工場は、オークマの中核拠点。15万㎡の敷地に開発部門などの本社機能はもとより、NCスクールやテストカットを実施するショールームをはじめ、部品加工工場・組立工場も配置し、CNC旋盤・複合加工機などを生産しています。





可児工場



壮大なスケールで生産システムが展開する マシニングセンタの一貫生産拠点

可児工場は6つの工場が連携してマシニングセンタと研削盤を生産しています。

特に、門形マシニングセンタ、小・中形マシニングセンタの生産は、それぞれ部品加工工場と組立工場が隣接し、素材投入から出荷まで自己完結する一貫生産ラインを敷いています。自動化・省人化した24時間稼働の部品加工システムをはじめ、匠の技が要求される高精度な組立など、オークマ独自の生産技術が結集しています。



一貫生産ラインを展開

門形マシニングセンタと小・中形マシニングセンタの一貫生産ラインを展開しています。組立工場の近くに部品加工工場を配置して部品の移動を最短にするなど合理的なレイアウトを確立し、品質確保と効率生産を両立しています。

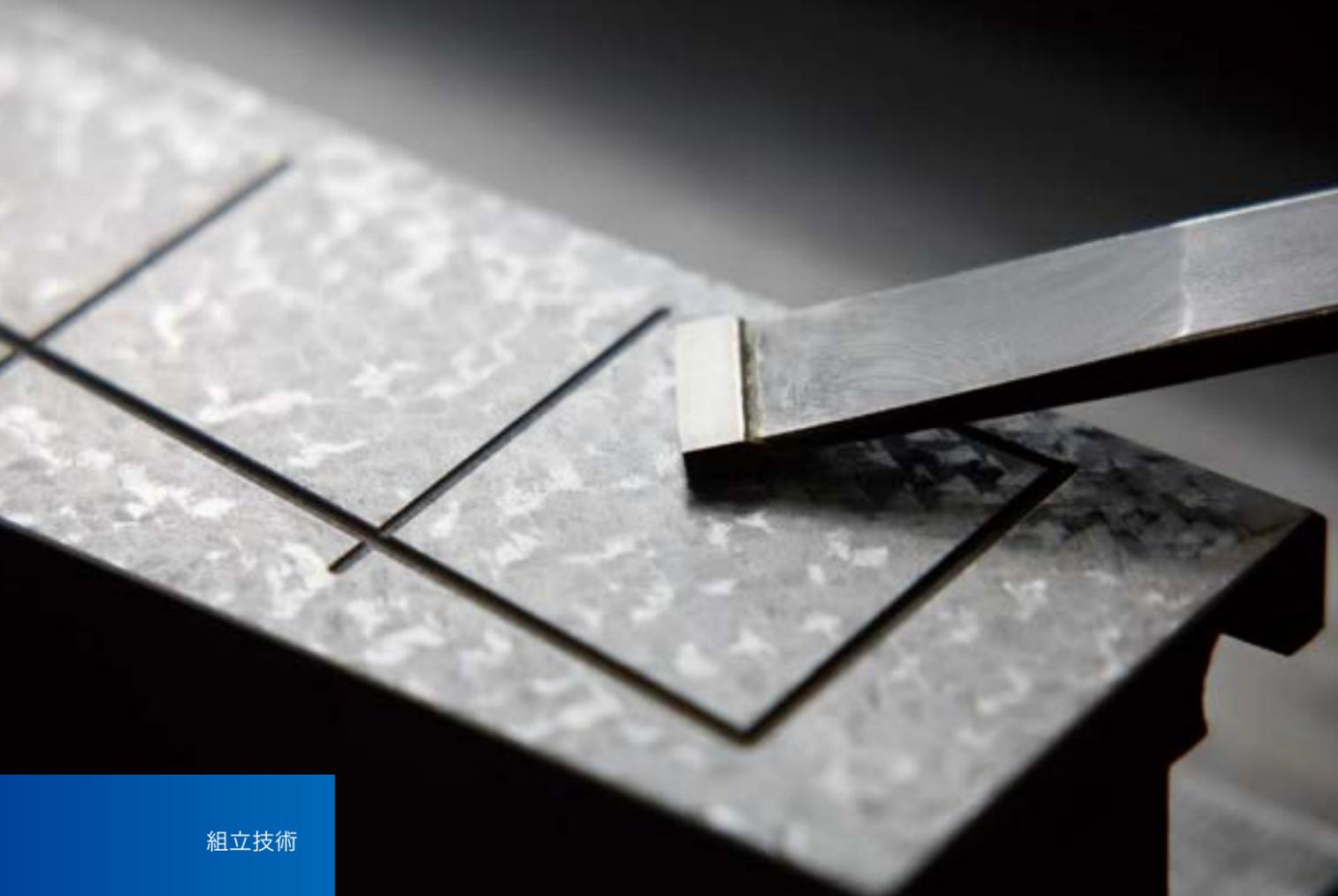


自動化・省人化した部品加工工場

夏は28℃、冬は20℃に管理した環境で、自社製門形マシニングセンタなどを組み入れた自動加工システムが24時間稼働。加工物はマシンの中で自動計測され、工具交換・切粉の回収・搬送や保管まで自動化しています。

岐阜県にある可児工場は、約35万m²の敷地に6つの工場棟で構成された生産拠点です。門形および立形/横形マシニングセンタの一貫生産工場、研削盤・サーボモータの生産工場を機能的に配置したほか、補給部品を供給・管理するパーツセンタなども設置しています。





組立技術



匠の技を製品に注ぎ込む オークマのクラフトマンシップ

ミクロンレベルの加工を要求される工作機械には、それを上回る部品精度や組立精度が求められます。その高い品質を支えているのが「現代の名工」に代表される卓越した加工・組立の技能です。オークマの生産拠点では、長年にわたって鍛え上げ、受け継がれてきた匠の技を製品の1台1台に注ぎ込むとともに、次の世代に技能を伝承する人材教育にも力を注いでいます。



機械も及ばない精度を生み出す匠の技

旋盤の主要ユニット組み付け部分や門形マシニングセンタの加工精度を決定づける「クロスレール」の摺動面は、熟練技能者による「きさげ作業」で仕上げます。これによって機械も及ばない精度の平面度・真直度を生み出しています。



卓越した技能を次の世代へ伝承

新入社員はほぼ全員が加工・組立の基本技能を習得し、製造系社員は入社5年以内での国家検定取得に向けて技能向上に努めます。教育現場では「現代の名工」に認定された熟練技能者が中心となって技能のすべてを若手に伝承しています。



従業員の約半数が国家検定の有資格者

オークマでは1963年から「技術・技能競技大会(社内認定制度)」を開催し、厚みのある技術基盤を形成しています。こうした企業風土から卓越した技能者を多数輩出し、現在も従業員の約半数が国家技能検定(2級以上)を有しています。



ソリューション



お客様の生産性・品質の向上を第一に 最適のソリューションをご提案します

機械を販売するのではなく、先進の加工技術を提供する—この理念のもと
お客様の課題を独自の視点で分析して最適なプランをご提案。
オークマならではのトータル・ソリューションで生産性を高めます。



総合工作機械メーカーならではのソリューション

旋盤、マシニングセンタ、研削盤、制御装置、周辺機器など
各製品シリーズは多種多様で、その組み合わせは無限です。
それは総合工作機械メーカーとして、世界中のお客様のニ
ーズに应运きた証。だからこそ加工品の素材・サイズ・形状は
もちろん、一品加工から量産まで、一連のプロセスをトータ
ル・ソリューションでお応えできるのです。



ご満足いただける最適な加工技術を

厳しい要求精度やサイクルタイムをクリアしながら、品質と
生産性を高めていくのは容易ではありません。そこで大きな
力となるのが、豊富な経験と実績に裏打ちされた助言やサポ
ートです。オークマの技術・営業スタッフは、マシンや周辺機
器の選択から、使いやすい知能化技術やアプリケーション、
工具・治具のノウハウも駆使して、ニーズに最適な加工方法
をご提案します。



先進の自動化システムをご提案

変種変量生産と効率性の両立、熟練技能者の不足と高品質の
維持などの課題解決に向けて、ロボット、FMS、ローダシステム
による自動化・無人化はきわめて有益です。
オークマでは本社工場のDS1・DS2や可児工場のDS3を
はじめ生産拠点で構築・運用している工程集約・自動化の実証
データをもとに、多種多様なシステムをご提案しています。



グローバルネットワーク



信頼のグローバルブランドとして 世界中のものづくりを支えています

オークマは世界4極(日本、南北アメリカ、欧州、アジア・パシフィック)で地域に根付いたソリューション活動を展開しています。

加工技術のご提案からグローバル生産のお手伝いまで、世界各国・地域の拠点と代理店・ディーラーが密に連携し、お客様のものづくりをサポートしています。

より広く、より深く、より密接に

オークマは早くから海外ネットワークの整備に力を注ぎ、現在、南北アメリカ、欧州、中国、アセアン地域に、現地法人(生産・販売)やテクニカルセンターを設置しています。そして、「1国1代理店※(総代理店制度)」を基本とする強力なパートナーシップで結ばれた代理店・ディーラーとともに、きめ細かなマーケティング活動を展開。お客様のニーズを的確に反映した最適のソリューションをご提案するとともに、修理・メンテナンスから教育サービスまで、タイムリーかつスピーディーな提供に努めています。

※アメリカは地域別総代理店、中国・インド・タイ等は複数代理店制です。

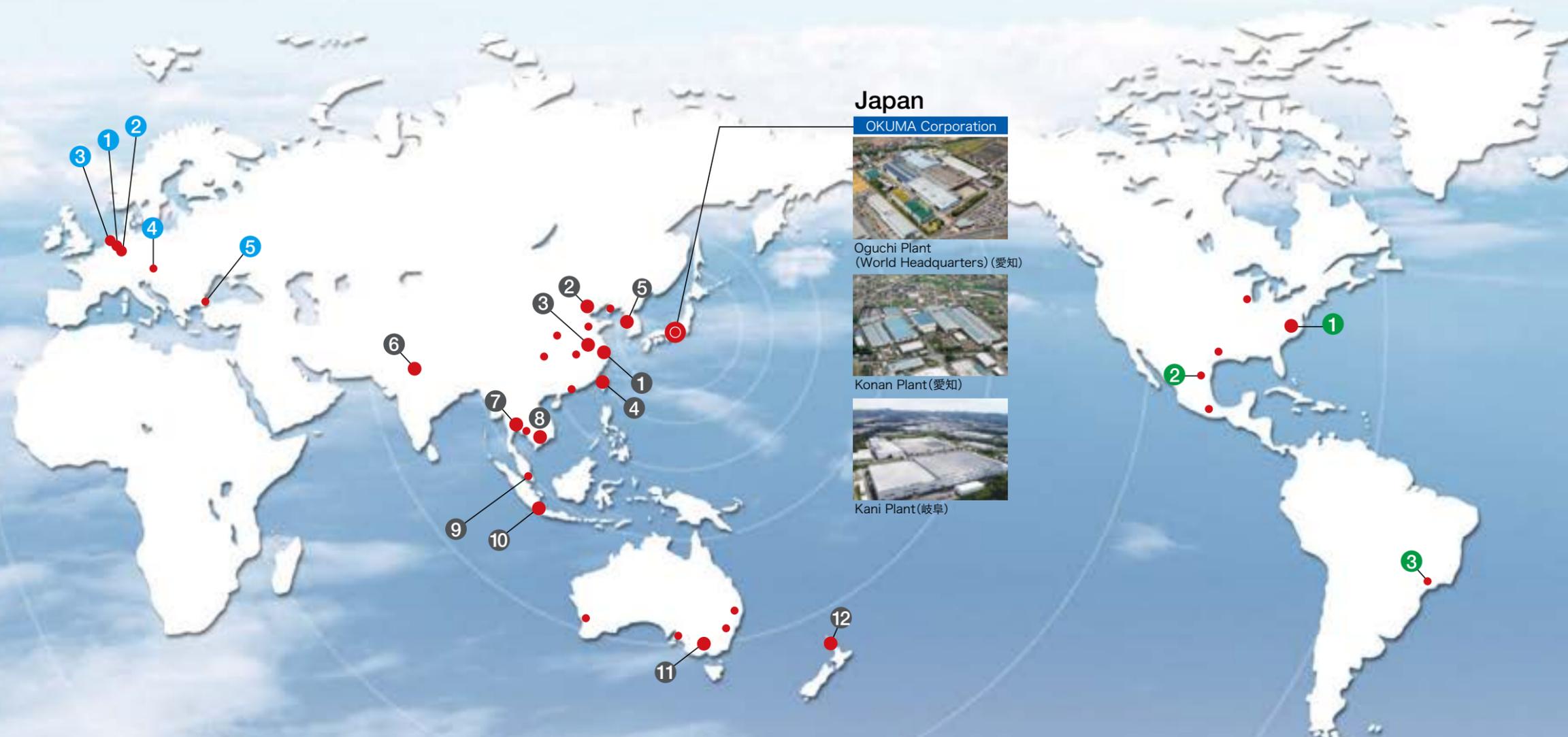
日本を代表する価値の高いブランドとして

メイド・イン・ジャパンの工作機械は、高品質の代名詞として世界の市場から高い評価を受け、躍動する産業基盤を支え続けています。工作機械は加工する部品の精度を決定づけるマザー・マシンだけに、その開発・製造には洗練された技術が不可欠です。オークマは、数ある日本製工作機械の中でも、手間を惜しまない職人技に裏打ちされた丁寧なものづくり、独創的な機能を創出するNC制御技術などで、ひときわ価値の高いジャパン・ブランドとして世界中のお客様から愛され続けています。

お客様のグローバル生産を強力にサポート

成長著しい新興国における現地生産は一段と加速し、その生産性が企業の成長を左右する状況にあります。オークマは、豊富な実績で日本のお客様の現地生産を幅広くサポートしています。たとえば、現地で発注し、日本国内で打ち合わせるケースでは、オークマの海外駐在員と国内営業担当が情報を共有し、きめ細かく対応。現地の特性とお客様ニーズのベストマッチングを実現します。

グローバルサポート



Japan

OKUMA Corporation



Oguchi Plant (World Headquarters) (愛知)



Konan Plant (愛知)



Kani Plant (岐阜)

Europe / Middle East (ヨーロッパ/中東)



Asia / Oceania (アジア/オセアニア)



The Americas (アメリカ)





サービス体制



いつもお客様の身近で 顔の見えるサービスを提供しています

機械の導入後も教育・トレーニングから操作・メンテナンスのお問い合わせ、修理・移設・システムアップのご相談など、「いつも身近にオークマを感じる」体制でお客様をサポートしています。



信頼の技術力で安心のサポートを提供

工作機械は性能をフルに発揮し、安定した生産を続けることが重要です。そのためにオークマは、世界各国・地域の拠点と販売代理店・ディーラーが密に連携し、機械・電気のプロフェッショナルによる地域に密着したサポート体制を確立しています。

日本では、納入機械の情報や修理履歴を蓄積したデータベースを整え、お問い合わせ内容をサービスセンター、各サービス拠点、パーツセンターが連携し、迅速な対応を行っています。



導入後の教育サポートも手厚く、きめ細かに

新鋭のNC機を納入時からスムーズに立ち上げ、加工性能を最大限に活用いただけるようオークマの各拠点・代理店・ディーラーではNCトレーニングスクールを開講しています。旋盤・マシニングセンタ・研削盤・制御装置を問わず、操作から日常メンテナンスまで、経験豊かな指導員が、講義と機械実習を通じて丁寧に指導します。

創意と熱意は1世紀を超えて。 ものづくりの喜びと感動を提供し続けます

オークマの歴史は、大隈榮一が製麺機の製造・販売を開始した1898年(明治31年)に始まりました。榮一の品質向上に対する情熱はすさまじく、麺を裁断する主要部品を改良するために高精度の旋盤を自社開発し、その技術が工作機械分野に進出する基盤となりました。

「百の賛辞より一つの批難を喜ぶ」と従業員に説き、お客様の苦言の中にも、次の開発につながる真のニーズが隠れているという榮一の信念は、時代の一步先を見据える力や独創技術を追求するチャレンジ精神を育て、オークマが工作機械のリーディングカンパニーへ発展する原動力となりました。

そして、125年の時を経た今もそのDNAはグループ社員一人ひとりに受け継がれ、「機電融合の総合工作機械メーカー」として、世界中のお客様に「ものづくり」の喜びと感動を提供し続けています。

地球環境にやさしい「ものづくり」を 推進しています

工作機械は一般消費財に比べて寿命が長く、廃棄の際も鉄資源として回収されます。オークマでは製品の一生を通じて、継続可能な社会に向けての環境負荷の低減を推進します。

環境・品質方針書

環境方針：環境と人との調和を目指し、企業活動を通じてよりよい環境の実現に貢献します。
品質方針：「顧客第一」をモットーに最高の製品とサービスをお届けします。

行動指針：

私達は世界における工作機械のリーディングカンパニーとして、お客様に満足していただける製品の提供と地球環境保全にたゆまぬ努力を続けます。

1. 環境・品質関連法規制及びその他の要求事項を順守して、社会から信頼される企業を目指します。
2. 次の項目を環境・品質重点項目として取り組み、環境汚染の予防及び継続的改善に努めます。
 - ①お客様のご要望とご期待に応えるために、継続的改善とオンリーワン技術によって、低環境負荷の製品を提供します。
 - ②ムリ・ムラ・ムダの削減と環境にやさしい「ものづくり」の企業活動を実践します。

この方針を達成するために、環境および品質目標を設定し、全社員を始め対象者全員に周知徹底するとともに適切性の持続のために定期的に見直します。

〈サーモフレンドリーコンセプトの環境経済効果〉

当社はISO14000を通して環境マネジメントを運用するにあたり、地球環境にやさしい製品を届けることを社会的使命と考えています。その取り組みに代表されるのが、オークマの知能化技術「サーモフレンドリーコンセプト」。室内温度の変化に左右されることなく、加工精度を一定に保つことができます。そのため、精度確保のための空調が不要となり、電気消費量、CO₂排出量を抑制します。生産性を高めながら、環境負荷を最小限に抑える「次世代のものづくり」を推進し、お客様にも環境にも優しい製品開発を継続していきます。

〈DS1の省エネルギー化への取り組み〉

本社工場DS1の壁面に約500枚、屋上には約3,800枚の太陽光発電パネルを設置し、出力は約1,040kWで年間発電量は一般家庭約260軒分の消費電力に相当します。さらに、DS1では外壁に断熱性の高いパネル、LED照明、エアコンプレッサーのインバータ制御、電気ヒートポンプなどを使用し、工場棟の消費電力などのエネルギーコストを従来よりも30パーセント削減するなど、省エネルギー化を推進しています。





オークマ株式会社

本社・本社工場

〒480-0193 愛知県丹羽郡大口町下小口5-25-1
Tel: 0587-95-7823 Fax: 0587-95-4091

可児工場

〒509-0249 岐阜県可児市姫ヶ丘3-6
Tel: 0574-63-5729 Fax: 0574-63-5647

www.okuma.co.jp

サービスセンター / ☎ 0120-506-090

東日本支店 / さいたま市中央区鈴谷2-627-1
〒338-0013 Tel: 048-840-4000
Fax: 048-851-2280

名古屋支店 / 愛知県丹羽郡大口町下小口5-25-1
〒480-0193 Tel: 0587-95-0911
Fax: 0587-95-0901

大阪支店 / 大阪府吹田市南吹田5-13-25
〒564-0043 Tel: 06-6339-9081
Fax: 06-6339-9099

山形営業所 / 山形市蔵訪町1-1-1
(センチュリープレイス山形3階)
〒990-0033 Tel: 023-625-8639
Fax: 023-625-8657

仙台営業所 / 仙台市若林区伊在2-22-8
〒984-0038 Tel: 022-288-9100
Fax: 022-288-9920

東北CSセンター(郡山営業所)
/ 福島県郡山市富田町字権現林15-38
〒963-8041 Tel: 024-954-8583
Fax: 024-954-8584

新潟営業所 / 新潟市中央区笹口1-20-5
(ファイビル5階)
〒950-0911 Tel: 025-246-1221
Fax: 025-243-2435

太田営業所 / 群馬県太田市西矢島町588-1
〒373-0823 Tel: 0276-61-3982
Fax: 0276-45-1800

日立営業所 / 茨城県日立市桜川町2-24-8(鈴木ビル)
〒316-0002 Tel: 0294-35-1128
Fax: 0294-35-7335

東京営業所 / 東京都江東区亀戸2-26-10
(立花亀戸ビル2階)
〒136-0071 Tel: 03-5858-4861
Fax: 03-5609-3390

西関東CSセンター(西関東営業課・東日本テクノ営業課)
/ 神奈川県厚木市岡田3144
〒243-0021 Tel: 046-229-1025
Fax: 046-229-1157

三島営業所 / 静岡県駿東郡長泉町上土狩字奥原716
〒411-0941 Tel: 055-987-8259
Fax: 055-987-9603

浜松営業所 / 静岡県浜松市東区長鶴町163-2
〒435-0031 Tel: 053-464-2911
Fax: 053-464-8171

安城営業所 / 愛知県安城市桜井町塔見塚46-2
〒444-1154 Tel: 0566-79-1250
Fax: 0566-99-6421

長野営業所 / 長野県松本市村井町南2-9-18
〒399-0036 Tel: 0263-85-6311
Fax: 0263-85-5231

金沢営業所 / 金沢市西念3-12-27
〒920-0024 Tel: 076-261-6633
Fax: 076-261-6637

京滋営業所 / 京都市伏見区竹田段川原町245
〒612-8414 Tel: 075-645-2171
Fax: 075-645-2175

明石営業所 / 兵庫県明石市魚住町清水2067-1
〒674-0074 Tel: 078-949-3341
Fax: 078-949-3334

西日本CSセンター(福山営業所)
/ 広島県福山市明神町2-5-31
〒721-0961 Tel: 084-959-5708
Fax: 084-959-2145

広島営業所 / 広島市安佐南区祇園3-22-5
〒731-0138 Tel: 082-874-7771
Fax: 082-871-1911

高松営業所 / 高松市田村町513-1
〒761-8057 Tel: 087-868-2530
Fax: 087-868-2671

九州営業所 / 福岡市博多区上牟田3-7-5
〒812-0006 Tel: 092-473-8960
Fax: 092-473-9006

会社概要

名称 オークマ株式会社
創業 1898年(明治31年)1月
会社設立 1918年(大正7年)7月
代表取締役社長 家城 淳
従業員 2,281名(連結 3,969名) ※2023年(令和5年)5月
資本金 18,000百万円
事業内容 工作機械及びこれらの部品の製造、販売ならびにサービス事業
主要営業品目: NC旋盤、マシニングセンタ、複合加工機、NC研削盤などNC工作機械、NC装置、サーボモータなど

関係会社 海外19社 国内9社
主要会社名 (海外) Okuma America Corporation
 Okuma Europe GmbH
 大隈機械(上海)有限公司
 大同大隈股份有限公司
 Okuma Techno (Thailand) Ltd.
 (国内) 株式会社 日本精機商会
 オークマ興産株式会社
 株式会社 大隈技研
 オークマスチールテクノ株式会社

沿革



製種機

1898 大隈栄一が「大隈種機商会」を興し、製種機の製造・販売を開始。
 1918 株式会社大隈鐵工所設立。
 1937 当社の工作機械生産額が国内第1位に
 1963 絶対位置検出方式のNC装置(OSP)を自社開発。わが国唯一の機電一体の総合メーカーとなる。



LA-N形NC旋盤

1966 LA-N型NC旋盤製造開始。
 1970 大口組立工場(愛知県)竣工。
 1972 CNC(コンピュータライズドNC)を自社開発。以降、すべての当社NC機はCNC装置付きとなる。



OSP2000形CNC装置

1980 MC-H型横形マシニングセンタ製造開始。
 1982 LB15型NC旋盤製造開始。
 1984 米国に販売会社Okuma Machinery Inc.設立。



Okuma Europe GmbH

1987 米国に生産拠点Okuma Machine Tools Inc.設立。
 1988 可児工場第1期工事完工。
 ドイツに販売会社Okuma Machinery Handels GmbH、サービス会社Okuma Service Fur Werkzeugmaschinen GmbH設立。



Okuma America Corporation

1990 ドイツのOMGとOSGが合併し、Okuma Europe GmbH設立。
 1991 オークマ株式会社に社名変更。
 1995 米国のOMIとOMTが合併し、Okuma America Corporation設立。
 1997 中華民国(台湾)に合併会社「大同大隈股份有限公司」設立。

2002 中国に生産拠点「北一大隈(北京)机床有限公司」を設立。

2003 サーモフレンドリーコンセプトの中核「熱変位補償システム」が日本機械学会賞を受賞。

2006 オークマホールディングス、オークマ、大隈豊和機械、大隈エンジニアリングの4社合併。

2013 本社に複合加工機とNC旋盤の一貫生産工場DS1(ドリームサイトワン)竣工。

2015 ブランドメッセージ“OPEN POSSIBILITIES”を制定。

2017 本社に中小型旋盤の一貫生産工場DS2(ドリームサイトツー)部品工場竣工。

2018 次世代ロボットシステム「ARMROID」を開発。

2019 可児工場に新世代スマートファクトリーDS3(ドリームサイトスリー)竣工。「サーモフレンドリーコンセプト」適用機の累計販売台数50,000台を達成。

2020 国立大学法人名古屋大学に「オークマ工作機械工学館」完成。

2021 高生産性、高精度と環境対応を両立させる省エネシステム「ECO suite plus」を開発。

2022 新世代のCNC「OSP-P500」を開発



グローバルCSセンタ



DS1

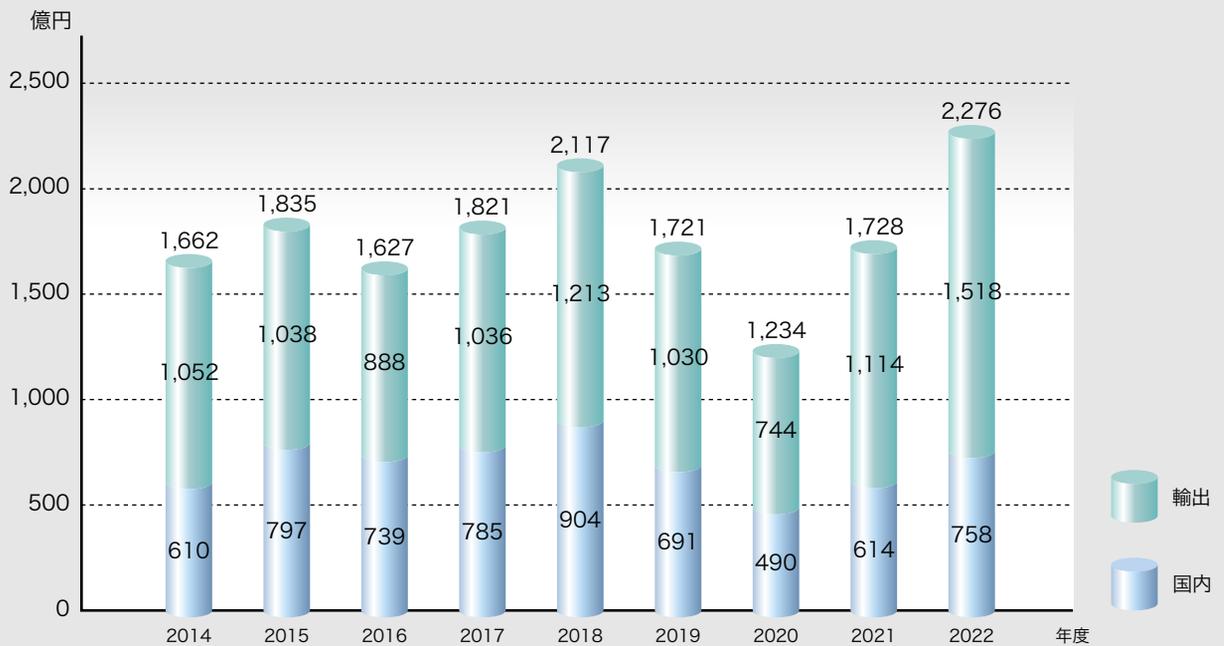


ARMROID

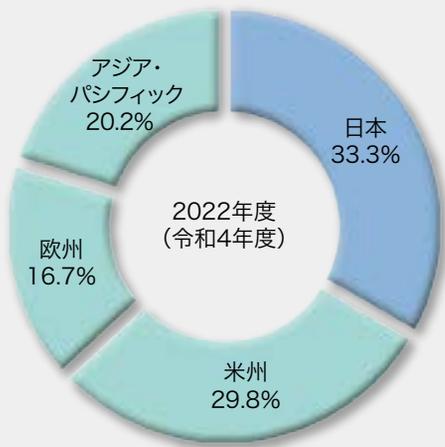


OSP-P500

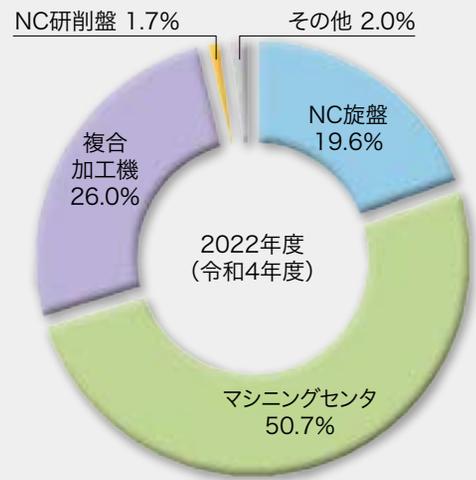
売上高の推移



地域別売上高構成



製品別売上高構成



本社工場(愛知県)



土地: 154,392m² | 建物: 127,443m²

江南工場(愛知県)



土地: 100,944m² | 建物: 49,443m²

可児工場(岐阜県)



土地: 351,175m² | 建物: 124,794m²